

平成29年度 事業報告

平成29年4月1日～平成30年3月31日

特定非営利活動法人はばたけ手をつなぐ育成会

1. 活動の成果

生活支援事業・短期入所事業の拡充や地域啓発活動の充実を図り、活動の幅を広げることができた。

2. 特定非営利に係る事業

(1) 障害児教育の強化増進事業

- ・教育支援委員会に参画 10回
- ・出石特別支援学校へ講演、学習会等参加 3回

(2) 障害児者とその家族への理解促進・人権擁護推進事業

- ・豊岡市自立支援協議会 12回
- 豊岡市障害者福祉計画策定委員会 7回

- ・育成会だよりの発行 800部 年4回発行

- 第1号 6月30日発行
- 第2号 11月20日発行
- 第3号 2月15日発行
- 第4号 3月30日発行

- ・フェスタはばたけ8th
11月24日 豊岡市民プラザ

人形劇団『クラルテ』、和太鼓演奏、
音楽あそび
はばたけ縁日、カフェ、アート展、
お茶席、アートイベント



- ・他団体主催の研修活動への派遣
第61回兵庫県障害者福祉大会
10月26日 たつの市 4名参加 池森前理事長表彰

但馬ブロック研修会（フェスタはばたけ 8th 併催）

11月24日 豊岡市 86名参加



障害児職業訓練事業（県育成会事業）

10月14日 尼崎市 7名参加

・地域生活支援事業研修会

「ぴーす&ピース 知的障がい者
疑似体験」

12月5日 はばたけ OLUOLU
会議室 14名参加



・つくし保護者会研修会

7月11日 7名参加

8月19日（父の会） 7名参加

11月7日 4名参加

（3）障害児者とその家族に係る相談事業

・知的障害者相談員2名（豊岡市より受託）による相談業務

・障害児保護者交流会「いいね！」

5月～1月、計9回実施、 延 57名参加



(4) 障害児者とその家族と市民の交流活動

前年まで行われていたイベント廃止のため未実施

(5) 障害児者の文化・スポーツ推進事業

・本人部会活動

日にち	活動内容	参加人数
4月 8日	城崎温泉街散策	23名
4月22日	ボウリング	27名
5月20日	映画鑑賞	20名
6月16日	うちわ作り	20名
6月24日	グラウンドゴルフ大会	60名
7月 1日	カラオケ	26名
7月22日	スポーツ&カフェ	20名
7月30日	うちわ作り	16名
8月11日	映画鑑賞	21名
8月26日	はばたけ縁日	24名
9月16日	ボウリング	26名
9月30日	竹野子ども体験村 うどん、キャンドルづくり	27名
10月 7日	カラオケ	19名
11月11日	映画鑑賞	21名
12月 2日	カラオケ	20名
2月10日	ボウリング	25名
2月24日	レクリエーション大会	18名
3月10日	餅つき大会	84名
3月21日	豊岡劇場『リメンバーミー』	22名



(6) 障害児者福祉サービス事業

- ・多機能施設はばたけ（すいーつ 就労継続支援B型・じゃんぷ 生活介護）
- ・ほっと 生活介護
- ・ヘルパーステーションはあと 居宅介護、行動援護、移動支援、重度訪問介護
- ・OHANA「あおー1」 共同生活援助
- ・OHANA「あおー2」「にじ-1」 共同生活援助・短期入所
- ・つくし 障害児通所支援

(7) 福祉有償運送事業「くれよん」

登録利用者数	23名
年間総走行距離数	4,119km
年間総運行回数	1,087回

3. 障害福祉サービス事業（日中活動）

基本方針

利用者一人ひとりのニーズを的確に把握し、日中活動を通じて、達成感・充足感を持ち、健康で自立した日常生活又は社会生活を送ることを目指す。

事業報告

(1) はばたけ 多機能施設

〈1〉 すいーつ 就労継続B型

- ・利用者が、地域生活に必要な知識、技術、態度、習慣を身につけるよう指導・配慮及び環境整備を行った。
- ・作業を通して、集中力・責任感・主体性や社会性を高め、働くことへの自信・意欲を引き出すよう指導・配慮及び環境整備を行った。
- ・新規利用者を3名受け入れた。
- ・利用者の自立生活に向けて、以下の活動で工賃向上に取り組んだ。

(1) HABATAKE Sweets Café（製菓部）

- ・新たな委託販売先の開拓・獲得について検討した。

- ・定期的な販売先獲得のため、積極的にイベントに参加した。

＜焼き菓子販売実績＞

平成 29 年	4 月 29 日	ソロプチミストチャリティーバザー
	9 月 2 日	日高高等学校 学校祭
	10 月 18 日	日高福祉まつり(文化体育館内販売コーナー)
		竹野福祉まつり
平成 30 年	3 月 4 日	長寿園「趣味の会」

※10月22日 城崎福祉まつり 台風のため中止

- ・新商品の開発・販売のため企画・立案を行った。
- ・売上アップ、コストダウンのため、製造数の調整・在庫管理の徹底に努めた。

(2) 喫茶業務 (店舗)

- ・PR活動を強化・集客力をアップに努めた。
- ・ドリンク、軽食メニューの改善・新規開発に努めた。
- ・平成29年10月24日より、メニューの改善・集客力アップのため、カフェ店舗一時閉店した。

<店舗販売実績>

営業日数：142日

(3) 喫茶業務 (移動販売車)

- ・定期的な出店先の確保のため、積極的にイベント参加した。



<移動販売車販売実績>

平成29年	4月15日	第8回菓子まつり前日祭
	4月20日	但東チューリップまつり
	4月22日	〃
	4月23日	〃
	4月27日	〃
	4月29日	〃
	4月30日	〃
	4月28日	絹巻神社 春季大祭
	5月3日	北前まつり
	7月1日	鳩場地蔵尊祭り
	7月5日	豊岡北中学校
	7月6日	豊岡聴覚特別支援学校・豊岡小学校
	7月9日	神鍋火山祭り
	7月11日	出石高校
	7月12日	五荘小学校
	7月14日	神美小学校
	7月16日	豊岡作業所まつり・八鹿夏祭り
	7月18日	出石特別支援学校
	8月1日、2日	柳まつり

平成 30 年	8 月 4 日	城崎ふるさと祭り
	8 月 6 日	大山ねずの命イベント
	8 月 9 日	豊岡小学校
	8 月 21 日	豊岡聴覚特別支援学校
	8 月 23 日	豊岡北中学校
	8 月 26 日	竹野港海町マーケット
	8 月 31 日	豊岡総合高校 学校祭
	9 月 1 日、2 日	出石高校 学校祭
	9 月 4 日	豊岡高校 学校祭
	9 月 23 日	絹巻神社 200 年祭
	9 月 29 日	豊岡定時制高校 学校祭
	10 月 28 日	しあわせフェスタ 2017
	11 月 3 日	出石お城まつり
	11 月 5 日	神鍋三方ふれあいマーケット
	11 月 11 日、12 日	但馬まるごと感動市
	11 月 25 日	フェスタはばたけ 8th
	3 月 17 日、18 日	出石初午大祭

・軽食類のメニューの検討に努めた。

(4) 配食サービスもみじ家 (調理・配食サービス)

・法人外部への販路拡大に向けて企画・検討を行った。

・調理作業に携わる利用者の増員・育成に努めた。

〈2〉じゃんぷ 生活介護

・安全安心な環境づくりとして、個別に利用者の障害特性の把握に努め、環境配慮した。

・利用者の健康維持・管理の徹底と情報共有のため、各利用者の健康状態把握の見直しを行った。

・主体性や社会性を育み、やりがいと達成感を得るべく、利用者それぞれに合った役割・仕事・活動の提供に努めた。

・リハビリ・機能訓練を実施し、利用者の身体能力の維持・向上に努めた。
(リハビリ的動作法、ストレッチ、ウォーキング等)

・新規利用者を 2 名受け入れた。

・協調性・積極性を養うため月 1 回程度クラブ活動を実施した。

生活介護事業 ほっと と合同で企画・立案を行い新たな活動・可能性を見出し、今後の活動強化・開拓に努めた。

・外部講師を招き、アドバイスをもらい支援者の意識の統一・支援力の強化に努めた。



- ・ミーティング・会議を行い、職員間での情報共有・支援力強化に努めた。
- ・利用者個人の能力を最大限発揮できるよう作業・活動を提供し、自主性・自立性を向上し、社会参画の場を増やしていくため、作業内容・活動内容の見直しを行った。

(2) ほっと 生活介護

- ・安全安心な環境づくりとして、個別に利用者の障害特性の把握に努め、環境配慮した。
- ・利用者の健康維持・管理の徹底と情報共有として、看護・医療体制強化、各利用者さん個別の健康状態把握を見直し、スタッフの医療的知識・マニュアル作成に努めた。
また、感染症等の対策に向け、職員研修を行った。
- ・主体性や社会性を育み、やりがいと達成感を得るべく、利用者それぞれに合った役割・仕事・活動の提供に努めた。
- ・新規利用者を1名受け入れた。
- ・リハビリ・機能訓練を実施し、利用者の身体能力の維持・向上に努めた。
(リハビリ的動作法、ストレッチ、ウォーキング等)
- ・概ね月1回、ぱすてる班を対象に外部講師による音楽療法を実施した。
- ・はばたけ LAULAU 1Fに介護ベッドを導入、リフト付き車両も導入し、職員の負担軽減と支援力強化に努めた。

・協調性や積極性を養うため月1回程度クラブ活動を実施した。

各班クラブ活動担当者による企画・立案で新たな活動・可能性を見出し、今後の活動強化・開拓に努めた。



- ・外部講師を招き、各班ケースにアドバイスをもらい支援者の意識統一・支援力強化に努めた。
- ・全体ミーティング、各班会議を強化し、職員間での情報共有・支援力強化に努めた。

(1) ぱすてる班・・・利用者の自己表現を尊重し、集団での活動を行う中で、自分の役割や居場所を見つけ、やりがいを感じ取っていただくため、活動内容の見直しを行った。

(2) すてっぷ班・・・利用者個人の能力をより発揮できるように作業や活動を提供し、そのうえで、より自主的・自立的な社会参画を増やしていくため、作業内容・活動内容の見直しを行った。

(3) はっち班・・・利用者それぞれに合った形での、自立の方法を探り、地域貢献を目指し、社会参画を増やしていくため、スケジュールと本人提示用ツールの見直しを行った。

・新規利用者さん受け入れに伴う、環境整備と配置職員数など、施設運営整理を行った。

(3) 共通事項

(1) 施設外活動

・太鼓クラブ

週2回 (火曜日・木曜日 15:30～ 30分程度)

月2回 外部講師による指導を受ける。(1時間程度)

・研修旅行の実施

主体性を育み、幅広い体験から社会性を高めることを目的とし、研修旅行を実施した。また、計画実施に利用者のアンケートやミーティングを導入し利用者の主体性を重視した。

今回は、3つの異なる旅行を企画、利用者の意思を尊重し、社会参画の機会増加に努めた。

日時 : 10/19～10/20、10/25～27、11/8

場所 : 岡山 (いこいの村)、東京 (ディズニーリゾート)、
大阪 (エキスポシティ)



・お茶会の実施 月1回

楽しみながら礼儀作法を身に着けるため、外部講師より指導を受けた。

(2) 地域交流

・個人ボランティアを受け入れ、また、販売等を通じ様々な地域イベントにも積極的に参加した。

・トライやるウィーク、中学生受け入れ ほっと1名 じゃんぷ1名

- ・昨年に引き続き、フェスタはばたけ 8th に参加し、地域の方と交流し、ボランティアの方にも多数参加していただいた。

(3) 安全衛生・危機管理

- ・感染症（インフルエンザ・0-157・ノロウイルス）対策を強化し、衛生管理を徹底した。
- ・防災避難訓練を、2回実施した。

(4) 職員研修

- ・法人内部で職員に対し、基礎研修等の充実を図った。
- ・外部講師を招いての研修会を実施し、支援スキルの向上、支援内容の見直しを図った。
 自閉症スペクトラムアドバイス 月1回
 兵庫県聴覚障害者協会講師による手話講習 全7回
- ・各種研修への積極的参加を促し、モチベーション、意識の向上を図った。
- ・各種専門職の資格取得の奨励を行った。
 行動援護従業者養成研修 18名資格取得

4. 障害福祉サービス事業（生活支援）

基本方針

利用者が地域で安心安全に、そしていきいきと暮らしていくために、一人ひとりのニーズを的確に把握し、生活全体の充実を目指す。

事業報告

(1) ヘルパーステーション はあと

- ・利用者が、地域生活に必要な知識、技術、態度、習慣を身につけるための支援を行った。

身体介護・食事介助・排泄介助・入浴介助・起居介助・服薬介助等日常生活に欠かす事が出来ないサービスを提供した。男性新規利用者1名、女性新規利用者1名を受け入れた。

行動援護・利用者それぞれに合った形での自立の方法を探り、外出を楽しめる様に努めた。行動障害に対処できるよう、ヘルパー個々の支援スキルを高めるため、行動援護従事者研修を開催し、4名受講した。

移動支援（児童）・・・自宅迎え後商業施設等へ出かけ、目的を持ち余暇を楽しむ事が出来る様に取り組んだ。女性新規利用者3名を受け入れた。

サービス名	登録利用者数	延利用者数	総利用時間
居宅介護	15名	2,952人	3,689.5時間
行動援護	13名	1,683人	2,212.5時間
重度訪問介護	1名	229人	451.0時間
移動支援	14名	156人	473.0時間

(2) グループホームOHANA 共同生活援助

- ・個々のケース会議を開き、各事業情報共有の上利用者の生活の充実を図った。

(1) 共同生活援助

- ・平成29年7月より、共同生活住居あおー1のサテライト型を開設した。



- ・個々のニーズに沿った個別支援計画に基づき、利用者に対する支援の向上に努めた。
- ・相談、食事の提供、健康管理、金銭管理の援助、入浴・排泄等の介護、日中活動に係わる他の事業所や関係機関との連絡調整を通じて日常生活全般の支援を行った。

入居者

18名（あおー1 6名、あおー2 7名、にじー1 7名）

<総利用者数と総開所日>

共同生活住居名	総利用者数	総開所日
あおー1	1,978人 (1,805人)	365日 (362日)
あおー2	2,116人 (2,048人)	365日 (312日)
にじー1	2,029人 (1,843人)	362日 (359日)

※（ ）内 平成28年度

(2) 短期入所

- ・共同生活援助利用者とのより良い共同生活が行えるよう支援を行う。

<利用者数と利用延べ日数>

共同生活住居名	利用者数	利用延べ日数
あおー2	2人 (1人)	96日 (77日)
にじー1	3人 (2人)	174日 (38日)

※（ ）内 平成28年度

(3) つくし 障害児通所支援

- ・安全安心な環境づくりに努めた。
- ・利用者の健康維持・管理の徹底に努めた。
- ・個々のニーズに合わせた療育的内容・リハビリ的運動・機能訓練を実施し、利用者の自発的な力を引き出した。
- ・利用者が理解しやすく、活動しやすい環境配慮に努めた。

(1) 放課後等デイサービス

- ・利用者の状況に応じて、適切な技術をもって支援を行った。
内容：食事、整容、更衣、排泄 等
- ・利用者及びその家族が希望する生活や、利用者の心身の状況を把握し、適切な相談・援助を行った。
内容：学校・家庭訪問、保護者の会、職員ミーティング 等
- ・日常生活能力の維持・向上を図った。
内容：日常生活訓練、社会適応訓練 等
- ・活動の充実を図り、活動の幅を広げた。
内容：絵画、公共施設の利用、ワーク、カード支援、ソーシャルスキルトレーニング、音楽療法、機能訓練、TEACCHプログラム 等

(2) 児童発達支援

- ・日常生活能力の維持・向上を図った。
内容：排泄、更衣、靴の着脱、歯磨き、洗濯物たたみ 等
- ・健康管理の徹底を図った。
- ・活動の充実を図り、活動の幅を広げた。
内容：運動、学習、学校生活に向けての指導、TEACCHプログラム 等

登録利用者数 放課後等デイサービス 41 名 児童発達支援 6 名

	総利用者数	総開所日
放課後等デイサービス（平日）	933 人	164 日
放課後等デイサービス（休日等）	779 人	94 日
児童発達支援	82 人	94 日

※（休日等）は、土曜日・祝祭日・学校教育法施行規則に規定する休日

(4) 共通事項

(1) 安全管理・危機管理

- ・感染症（インフルエンザ・O-157・ノロウイルス）対策を強化し、衛生管理の徹底については、個々の事業所で実施した。
- ・防災・避難訓練を年に2回実施した。

(2) 地域交流

- ・フェスタはばたけ 8 t h へ参加し、地域交流を図った。

(3) 職員研修

- ・法人内部で職員に対し、基礎研修等の充実を図った。
- ・外部講師を招いての研修会を実施し、支援スキルの向上、支援内容の見直しを図った。
自閉症スペクトラムアドバイス 月1回
兵庫県聴覚障害者協会講師による手話講習 全7回
- ・各種研修への積極的参加を促し、モチベーション、意識の向上を図った。
- ・各種専門職の資格取得の奨励を行った。
行動援護従業者養成研修 18名資格取得

5. 法人運営

(1) 理事会、役員会

平成29年 4月 6日	第49回理事会 第1号議案 就業規則・給与規程に関する事項
5月11日	通常総会について 他報告事項4件
5月25日	第50回理事会 第1号議案 平成29年度事業計画及び活動予算に関する事項 第2号議案 池森理事辞任に伴う後任理事選定に関する事項 第3号議案 共同生活援助 OHANA サテライト「あおぞら」事業開始に関する事項
6月19日	第51回理事会 第1号議案 理事長・副理事長選任に関する事項
7月12日	但馬ブロック研修会について 他報告事項3件
8月 9日	但馬ブロック研修会について 他協議報告事項4件
9月29日	但馬ブロック研修会について 他報告事項4件
11月 2日	第52回理事会 第1号議案生活介護ほっと塩津出張所賃貸契約に関する事項 フェスタはばたけ8thについて 他報告事項3件
11月22日	フェスタはばたけ8th、但馬ブロック研修会について 他報告事項2件
12月21日	認定NPO法人について 他報告事項5件
平成30年 2月 7日	法人規程関係について 他報告事項6件
3月15日	第53回理事会 第1号議案 生活介護ほっと塩津出張所改修事業他資金借入に関する事項

(2) 総会、臨時総会

平成29年 6月18日	第13回通常総会 第1号議案 平成28年度事業報告に関する事項 第2号議案 平成28年度活動計算書に関する事項 監査報告 第3号議案 理事、監事の選任に関する事項 報告事項 平成29年度事業計画について 平成29年度活動予算書について
-------------	---

(3) 会員 (平成30年3月31日現在)

正会員	61名
賛助会員	32名
寄附者	82件